

〈落ち葉の窓〉

久しぶりに畑に行き、もっともっと久しぶりに「落ち葉の窓」で遊んでみた。畑にあるヘーゼルナッツ、ムクロジ、桑の木の葉を枠の裏から貼り、西日に透かして見る。黒枠に縁どられた葉は黄金色に輝き葉脈までくっきり見えた。何の変哲もない落葉だがこうして枠に入れるとそこだけにスポットライトが当たり、命を吹き返してその存在が輝き出す。



作品をどこに置くかあちこち探していると、葉っぱの裏側に木の枝や別の葉が重なってシルエットに見えることに気づいた。“これは楽しいぞ！”と、色々なものの前に落ち葉の窓を重ねてみた。ナズナ、アメリカセンダングサ、ホトケノザ……、個性的な形をした草やタネが金色のカーテンの裏で影絵遊びをしているようでそれはそれは楽しい。カマキリでも映ればサイコーなのだがそううまくはいかない。晩秋の畑で思いがけず見つけた光と影の饗宴、日が沈むまでの一時、この宴を楽しむ幸せに酔いしれる。

